



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月14日

上場会社名 株式会社Sharing Innovations 上場取引所 東
コード番号 4178 URL <https://sharing-innovations.com>
代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 信田 人
問合せ先責任者 （役職名） 取締役CFO （氏名） 西田 祐 TEL 03 (6456) 2451
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績（2025年1月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年12月期第3四半期	3,383	△12.1	59	△64.8	48	△70.5	8	△92.0
2024年12月期第3四半期	3,848	2.7	168	220.3	163	193.8	101	475.0

（注）包括利益 2025年12月期第3四半期 7百万円（△92.9％） 2024年12月期第3四半期 101百万円（500.4％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	2.17	2.07
2024年12月期第3四半期	27.18	25.84

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年12月期第3四半期	2,287	1,592	69.6
2024年12月期	2,452	1,585	64.6

（参考）自己資本 2025年12月期第3四半期 1,591百万円 2024年12月期 1,584百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年12月期	—	0.00	—		
2025年12月期（予想）				0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	4,500	△12.9	100	△58.2	85	△63.9	18	△86.9	4.75

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期 3 Q	3,793,300株	2024年12月期	3,793,300株
② 期末自己株式数	2025年12月期 3 Q	49,700株	2024年12月期	49,700株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年12月期 3 Q	3,743,600株	2024年12月期 3 Q	3,743,600株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(会計上の見積りの変更に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調にありましたが、ウクライナ・ロシア情勢、米国の政策動向などの国際情勢に加え、原材料・エネルギー価格の高騰などのリスクがあり、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの主要事業であるデジタルトランスフォーメーション事業を取り巻く環境といたしましては、IT人材不足が今後ますます深刻化し、2030年には約45万人程度までIT人材の不足規模が拡大するとの推計結果が出ております。（出所：経済産業省委託事業「IT人材需給に関する調査」）

また、デジタルトランスフォーメーション（DX）のトレンドが進展する中、生産性の向上や業務の効率化を目的にクラウドファースト戦略を実行する企業は引き続き増加傾向となっております。また企業が従来型ITからクラウドへ移行するクラウドマイグレーションは、対象システム領域の多様化が顕著となっており、WEBシステムや情報系システムから基幹系システムへと対象システム領域が拡大しております。2024年の国内クラウド市場は、前年比29.2%増の9兆7,084億円（売上額ベース）となりました。また、2024年～2029年の年間平均成長率（CAGR：Compound Annual Growth Rate）は14.6%で推移し、2029年の市場規模は2024年比約2.0倍の19兆1,965億円になると予測されております。（出所：IDCJapan株式会社「国内クラウド市場予測、2024年～2029年」）

このような環境のもと、当社グループのデジタルトランスフォーメーション事業においては人材確保とIT技術の教育により、開発体制強化に努めてまいりましたが、営業や中堅エンジニアのリソースが不足したため、2022年下期より事業の構造改革に取り組んでまいりました。その後、コスト最適化と売上拡大の両軸で改革が進み、クラウドインテグレーション領域にて、従来注力してきた中・小型案件で、受注ルールの適正化、案件管理の徹底による遅延の発生（追加コストの発生）の抑制等の効果により、収益性が向上いたしました。また、高難易度・大規模案件を扱うエンタープライズへの進出を開始し、安定的に利益が出る体質へ復帰いたしました。

当第3四半期連結累計期間においては、主に営業体制の整備と新規領域の体制強化を図るために採用を実行し、Salesforce新ソリューション案件にて、戦略的投資として上期に外部リソースを活用し、また品質改善対応に係る費用を計上いたしました。上期にこれらの投資を実行することは事業計画でも織り込んでおり、上期までその事業計画通り進捗いたしました。事業計画では、下期にかけて利益が増加することを見込んでおりましたが、当社を取り巻く外部環境の変化を受け、Salesforce領域、SES領域の収益が減益となり、データ、ITコンサルティングといった新規事業領域が伸長するも、当初の計画を下回る見込みとなりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高3,383,387千円（前年同期比12.1%減）、営業利益59,161千円（前年同期比64.8%減）、経常利益48,178千円（前年同期比70.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益8,128千円（前年同期比92.0%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①デジタルトランスフォーメーション事業

当事業においては、事業開始からM&Aを推進し、同時にIT人材の採用を行うことで開発体制の拡充を進めてまいりました。IT利活用の多様化・高度化に伴い拡大するIT需要を取り込み、各種Webシステム開発、スマホアプリ開発、クラウドインテグレーション等の案件を受注しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,108,429千円（前年同期比12.6%減）、セグメント利益（営業利益）は263,084千円（前年同期比26.2%減）となりました。

②プラットフォーム事業

プラットフォーム事業においては、「チャットで話せる占いアプリ-ウララ-」を主力としたスマートフォン向けアプリの企画・開発・運営などに取り組んでおります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は296,036千円（前年同期比6.3%減）、セグメント利益（営業利益）は37,912千円（前年同期比12.8%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べて164,198千円減少し、2,287,900千円となりました。主な要因は、受取手形、売掛金及び契約資産が138,672千円、のれんが25,567千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べて171,389千円減少し、695,006千円となりました。主な要因は、長期借入金が49,856千円増加した一方、未払法人税等が78,217千円、買掛金が

62,682千円、短期借入金が37,500千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて7,190千円増加し、1,592,894千円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が8,128千円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当社を取り巻く外部環境の変化を受け、Salesforce領域、SES領域の収益が悪化いたしました。データ、ITコンサルティングといった新規事業領域が伸長するも、当初の計画を下回る見込みとなり、2025年12月期通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（2025年11月14日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,088,929	1,122,721
受取手形、売掛金及び契約資産	615,497	476,824
仕掛品	256	4,275
その他	113,479	98,847
流動資産合計	1,818,162	1,702,668
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	234	301
工具、器具及び備品（純額）	3,555	2,740
有形固定資産合計	3,790	3,042
無形固定資産		
のれん	565,818	540,251
その他	22,215	15,598
無形固定資産合計	588,034	555,849
投資その他の資産		
繰延税金資産	6,146	1,529
その他	44,375	33,221
貸倒引当金	△8,411	△8,411
投資その他の資産合計	42,111	26,339
固定資産合計	633,936	585,231
資産合計	2,452,099	2,287,900
負債の部		
流動負債		
買掛金	275,121	212,438
未払費用	125,345	98,930
短期借入金	37,500	-
1年内返済予定の長期借入金	35,760	55,752
賞与引当金	-	2,593
未払法人税等	81,269	3,052
その他	144,838	105,822
流動負債合計	699,835	478,590
固定負債		
長期借入金	166,560	216,416
固定負債合計	166,560	216,416
負債合計	866,395	695,006

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,525	436,525
資本剰余金	433,525	433,525
利益剰余金	817,919	826,047
自己株式	△101,444	△101,444
株主資本合計	1,586,526	1,594,654
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△2,098	△3,036
その他の包括利益累計額合計	△2,098	△3,036
新株予約権	1,276	1,276
純資産合計	1,585,704	1,592,894
負債純資産合計	2,452,099	2,287,900

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2024年1月1日 至2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2025年1月1日 至2025年9月30日)
売上高	3,848,128	3,383,387
売上原価	3,037,201	2,727,995
売上総利益	810,926	655,391
販売費及び一般管理費	642,921	596,230
営業利益	168,005	59,161
営業外収益		
受取利息	100	1,554
業務受託料	1,800	1,800
営業外収益合計	1,900	3,354
営業外費用		
支払利息	2,200	2,311
支払手数料	1,720	9,266
為替差損	2,898	2,759
営業外費用合計	6,819	14,337
経常利益	163,086	48,178
税金等調整前四半期純利益	163,086	48,178
法人税、住民税及び事業税	63,382	35,432
法人税等調整額	△2,033	4,617
法人税等合計	61,348	40,049
四半期純利益	101,738	8,128
親会社株主に帰属する四半期純利益	101,738	8,128

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2024年1月1日 至2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2025年1月1日 至2025年9月30日)
四半期純利益	101,738	8,128
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△331	△938
その他の包括利益合計	△331	△938
四半期包括利益	101,406	7,190
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	101,406	7,190

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日)及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」

(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(会計上の見積りの変更に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	10,288千円	7,677千円
のれんの償却額	80,242千円	80,702千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2024年1月1日 至2024年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デジタルトランス フォーメーション 事業	プラットフォーム 事業	計		
売上高					
クラウド	733,476	-	733,476	-	733,476
インテグレーション システム	2,798,554	-	2,798,554	-	2,798,554
ソリューション					
その他	-	316,097	316,097	-	316,097
顧客との契約から 生じる収益	3,532,031	316,097	3,848,128	-	3,848,128
その他の収益	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	3,532,031	316,097	3,848,128	-	3,848,128
セグメント間の内部 売上高又は振替高	24,070	-	24,070	△24,070	-
計	3,556,101	316,097	3,872,198	△24,070	3,848,128
セグメント利益	356,425	33,613	390,039	△222,033	168,005

(注) 1. セグメント利益の調整額△222,033千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2025年1月1日 至2025年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デジタルトランス フォーメーション 事業	プラットフォーム 事業	計		
売上高					
クラウド インテグレーション システム	508,677	-	508,677	-	508,677
ソリューション	2,440,637	-	2,440,637	-	2,440,637
その他	138,035	296,036	434,072	-	434,072
顧客との契約から 生じる収益	3,087,350	296,036	3,383,387	-	3,383,387
その他の収益	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	3,087,350	296,036	3,383,387	-	3,383,387
セグメント間の内部 売上高又は振替高	21,078	-	21,078	△21,078	-
計	3,108,429	296,036	3,404,466	△21,078	3,383,387
セグメント利益	263,084	37,912	300,996	△241,835	59,161

- (注) 1. セグメント利益の調整額△241,835千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。